

イノシシに注意しましょう!!



イノシシってどういう動物？

○イノシシについて

基本的には臆病で警戒心の強い動物です。昼夜を問わず活動していますが、人間が活動している時間帯は身を隠します。ただし、人馴れが深刻化すると、昼にも人間の生活域に姿を現すこともあります。

○好きな食べ物

イノシシは草食の傾向が強い雑食です。植物の葉や根、果を主に食べます。春季は主にタケノコ、秋季にはドングリを好んで食べます。

○行動範囲

基本的に、群れは1~2kmの範囲内を移動しています。ただし、まれに10km以上の距離を移動したり、池等を泳いだりすることがあります。

○繁殖能力

イノシシは繁殖力が強い動物です。一度に生まれるイノシシは4~5頭で、生まれてから1年程で繁殖できるようになります。



もしイノシシを見かけたら...

最重要

ゆっくり後ろに下がって、静かにその場を去る！

イノシシは基本的には臆病な動物であるため、こちらから何かしない限り襲ってくることはありません。見かけた時は、刺激を与えず、興奮させないようにすることが大切です。背中を見せず目を合わせないようにして静かに逃げてください。



刺激しないように・・・
ゆっくり、静かに・・・



注意

- ①急に走り出してイノシシを興奮させない！
- ②イノシシの子どもがいても絶対に近寄らない！（親が近くにいると襲われる可能性あり！）

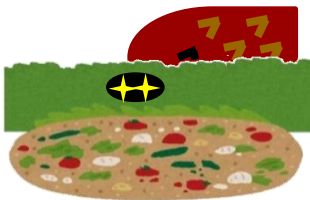
重要

- ③興奮しているイノシシがいたら逃げ道を作ってあげましょう！
- ④夜は懐中電灯や鈴をつけて歩くようにしましょう！

イノシシの被害を防ぐには

●イノシシが出没しづらい環境づくり

イノシシによる農作物への被害防止対策は、個人的に対処できることもあれば、隣近所、集落、集団で協力しなければならないものもあります。



①餌付けの禁止、誘引物の除去

イノシシが出没している地域には、イノシシにとって簡単に手に入る餌が存在している可能性があります。

意図的ではなくても、ゴミ、不要作物、収穫残渣、放棄果樹などが田畑や住居にあれば、知らず知らずのうちに呼び寄せていることもあります。



②やぶの草刈りや刈払い

イノシシは耕作放棄地や山際のやぶなどに潜んでいることがあるため、耕作地付近のやぶの草刈りや刈払いを行うのが効果的です。

イノシシは、本来警戒心が強い動物ですので、耕作地周りの見晴らしがよく整備された環境であれば、出没しづらい状況となります。

イノシシから農作物を守る

●侵入防止は、あくまで防護柵設置が基本となります。

イノシシの侵入防止を目的として、イノシシの嫌いなにおいや音を発する装置を設置する「威嚇」の方法がありますが、一時的にイノシシを警戒させるだけで効果は限定的であり持続しません。

侵入防止は、あくまで防護柵設置が基本となります。

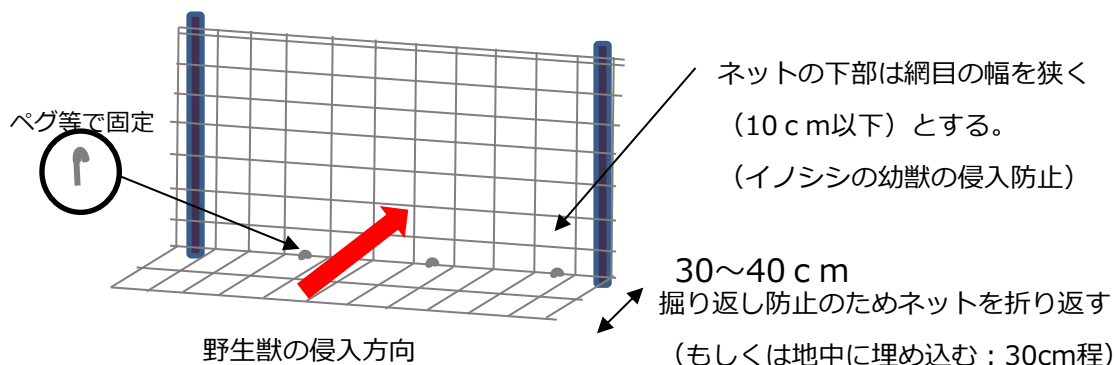
防護柵の設置

イノシシは、防護柵の上を飛び越えるよりも、防護柵の隙間や下からくぐり抜けようとすることが多いです。

掘り返し防止のためネットを折り返す（もしくは地中に埋め込む：30cm程度）と、効果的です。



※設置前には、各防護柵メーカーの設置説明書等で適切な設置例をご確認ください。



イノシシの目撃情報や農作物に対する被害状況を集約し、総合的な対策を取ることが重要です。

○有害鳥獣（イノシシ）に関する報告や相談は

【連絡先】

上牧町役場 まちづくり推進課 地域活性係

電話 0745-76-2503

MAIL machidukuri@town.kanmaki.lg.jp